

資料1

令和元年度 鳥取東高等学校

【教員】アンケート結果 《中間評価》

回答数 R01:60人 R1.7.5

項目	質問	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
学習指導	1 生徒の家庭学習時間の確保のため、予習・復習等やるべきことを具体的に明確に指示している。	35%	59%	2%	4%
	2 課題を点検し、指導に活かしている。	44%	47%	4%	5%
	3 理解しやすい授業展開をしている。	21%	75%	4%	0%
	4 基礎的学力が生徒に身につくよう授業を工夫している。	26%	70%	4%	0%
	5 発展的思考力が生徒に身につくよう教材ごとに工夫している。	21%	66%	13%	0%
指導力向上	6 指導力向上のための自己研鑽に努めている。	28%	60%	11%	2%
	7 生徒の学力実態を把握した上で、学力向上につながるよう有効な取り組みを実践している。	20%	68%	13%	0%
個人面談	8 個人面談は、面接期間に加えて必要に応じて行っている。	15%	64%	15%	5%
	9 個人面談は、時期に応じて学年としての明確な方向性を持って実施している。	16%	63%	18%	3%
	10 個人面談を実施して、生徒理解が深まり、その後の生徒指導に活かしている。	21%	69%	10%	0%
キャリア教育と進路指導プログラム	11 「鳥取学」や進路講演会などのキャリア教育にかかる各種活動は充実している。	13%	68%	20%	0%
	12 本校のキャリア教育は、生徒の進路意識を高め、自立した学習態度を身に付けるために効果的である。	10%	60%	28%	2%
	13 各学年の進路指導プログラムの全校的な共有がなされている。	12%	41%	44%	3%
対人関係能力	14 教育活動全体で対人関係能力育成が図られている。	10%	63%	27%	0%
生活指導	15 生徒の規範意識や自律した生活態度が育成されている。	8%	65%	27%	0%
	16 身だしなみや言動について、全教職員の一致した指導が展開されている。	7%	67%	27%	0%
	17 生徒の生活習慣や健康・安全について保護者との連携ができている。	8%	80%	12%	0%
部活動	18 本校では、文武両立がよく実践されている。	8%	67%	20%	5%

